



## 同意書作成を行わない軽微な処置などの医療行為について

当院では患者さんからの情報の聞き取りや侵襲性が低い医療行為については同意書を作成せず、口頭で説明させていただいております。ご理解とご協力をお願いいたします。

### 【一般項目】

各種問診、視診、身体診察、体温測定、身体測定（身長・体重・腹囲・筋力・可動域など）、血圧測定、栄養指導、食事の決定、薬剤指導、カメラなどによる患部の撮影（皮膚）など

### 【検査・モニターなど】

採血（静脈及び動脈）、尿、糞便検査、微生物検査（痰・唾液などの採取）、視力、色覚、聴力、抗原検査（咽頭ぬぐい液）、検体の病理・細胞診、生理検査、X線一般透視撮影検査、骨密度測定、血管内注入造影剤を用いないCT検査、心理検査（認知症検査・知能検査・失語症検査など）、経皮酸素飽和度検査、針刺し・切創・皮膚・粘液曝露時の感染症確認

### 【治療・処置など】

注射（静脈内、筋肉内、皮下）、点滴、痰などの吸引、爪切り、点眼、点耳、点鼻、摘便、浣腸、酸素投与、胃管カテーテル挿入、膀胱カテーテル挿入、温冷罨法、口腔ケアなどの処置、吸入、関節穿刺、関節注射、非観血的整復固定、ギプス装着・取り外し、抜糸、シーネ固定、抜釘、弾性ストッキング着用、各種リハビリテーション（摂食嚥下療法・低周波治療、物理療法など）、固定ベルト装着、胃瘻カテーテルの交換、局所麻酔（同意書が必要な場合もあり）、その他上記に準じる患者さんへの心身の負担が少ない処置・治療

### 【投薬・注射など】

通常の投薬、持続点滴、抗菌薬、麻薬、インスリン注射を含む薬剤の投与など、上記の医療行為において合併症（出血・しびれ・アナフィラキシーなど）や有害事象の発生頻度は極めて低いとされていますが、処置・医療行為者の技量に関わらず、一定の割合で生じる可能性があります。このような場合は、保険診療で対応いたします。



令和7年8月  
島根県済生会江津総合病院  
院長 中澤芳夫